

1. 件名：「日本原子力発電株式会社 東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所
第二種廃棄物埋設事業許可申請に係るヒアリング（62）」

2. 日時：令和4年12月22日（木）14時50分～15時30分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

研究炉等審査部門

志間安全規制管理官、菅生主任安全審査官、大塚安全審査専門職、森田
安全審査専門職、加藤原子力規制専門員

技術基盤グループ

放射線・廃棄物研究部門

山田首席技術研究調査官、入江技術研究調査官

日本原子力発電株式会社

廃止措置プロジェクト推進室 室長代理 他11名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原子力発電株式会社 東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所 規制法令及び通達に係る文書（平成27年7月16日）

「日本原子力発電（株）から東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所に関する第二種廃棄物埋設事業許可申請書を受理」

<https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/11285463/www.nsr.go.jp/disclosure/law/WAS/00000045.html>

- ・ 日本原子力発電株式会社 東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所 規制法

令及び通達に係る文書（平成28年12月26日）

「日本原子力発電（株）から東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所に関する
第二種廃棄物埋設事業許可申請書の一部補正を受理」

[https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/11285463/www.nsr.go.jp/dis
closure/law/WAS/00000170.html](https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/11285463/www.nsr.go.jp/dis
closure/law/WAS/00000170.html)

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	当日本原子力発電株式会社から平成 27 年 7 月に申請のありました。東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所第二種廃棄物埋設事業許可申請に関するヒアリングを始めたいと思います。
0:00:15	本日も自動文字起こしで実施しますので発言される前には所属と名前を言ってからお願いいたします。
0:00:24	まず規制庁からの出席者紹介いたします。研究炉等審査部門より衛藤管理官のシマ
0:00:31	それからオオツカモリタかとスゴウ、それから放射線廃棄物研究部門からヤマダになります。現場からの出席者の紹介をお願いします。
0:00:45	お願いします。
0:00:51	現在のハママツです。原電側の出席者になりますけれども、廃止措置プロジェクト推進室から桐山室長、野口室長代理、イマヅ部長、コアシグループマネージャー、
0:01:04	タケゴシタナカノムラムシモもう、放置サクマになります。あとハママツ、あと開発計画室からサカガミフジワラ。
0:01:17	になります以上です。はい。規制庁の蘇武ですありがとうございますそれでは早速ヒアリング始めたいと思います。本日は先ほど実施しました第 465 回の
0:01:32	審査会合に関するラップアップということで、ヒアリング実施します。先ほど我々の方から何点か指摘しましたけれども、それについて、
0:01:44	確認したいこととかありましたら原電からお願いいたします。
0:02:01	日本原子力発電の小橋です小さいことのご指摘ありがとうございますと。
0:02:08	これはいただいた指摘の中で確認なんですけど、大塚さんからいただいた気象条件に関する寒冷化と温暖化ケースのそれぞれの影響について少しもう少し整理をして説明をして欲しいというのは、これ
0:02:24	それぞれの表、総合評価パラメーターの設定に対してということも含めてさあ、新保今回の環境の設定から、そういった整理をまずやって欲しいということなのかということについては、
0:02:37	いかがでしょうか、少し確認あります。はい規制庁の大塚です。答えは後者ですね。
0:02:43	今この気象警報地質環境の状態設定の中で資料 1-2 を見ても各論から入ってしまっていてその相互関係がよくわからないところが一番あるので、まずその

0:02:56	玉野化学物質の影響のところもおっきなところをまずおっきなところからだんだん改造で整理してくださいってお願いして今回そうしていただいたと思うんですけども、同じように
0:03:07	どういうパターン、どういうその事象があってそれらの事象が同窓ほど、お互いに関係してきていて、ある事象が大きくなった時にそれが最終的に保守的なのか非保守的なのか、だからその上流側にある
0:03:24	気候とか降水量はこういう設定をするんですけどっていう説明をしてくれると、わかりやすいかなと思います。日本で10月のコアシですありがとうございます。理解いたしましたので。そうですね、気象条件の設計のピークから、
0:03:39	少し考え方というのをもう一度詳細に説明できるように、修正を行っていききたいと思います。続きまして、
0:03:49	ご指摘いただきまして1日5時間で設計の方で説明が抜けていたということをお大変申し訳ありませんでした。これについては本来の設計施設設計の、今いただいている指摘事項の公園に合わせまして、
0:04:05	性能ですとか、どのぐらいの機能を期待するのかというところは、対応していきたいと思いますまた次回の審査会合における埋設地の状態設定の中でも、侵食の話と合わせて少し説明を
0:04:20	させていただきますと思います。
0:04:23	あと山路さんのご指摘をいただきましてA p p Aの過去の失敗事例ですとか設定それぞれの設計の設定の考え方についても、少し
0:04:34	整理をして、次の埋設地の状態設定の中で説明して欲しいという指摘がございまして、もちろん我々設計の最初の段階ではそういった整理も行ってございますので、まだ資料の中には反映ができていないんですけど、
0:04:49	早急に説明できるような注意を努めて、反対をしたいと思います。逸見からは以上でございます。
0:04:59	規制庁の盛田です1日防止材につきましては今ご説明いただいた進め方で結構かと思っておりますのでよろしくお願いたします。燃焼度の暮らしですありがとうございます。
0:05:15	いいですか。規制庁スゴウです。今の吸い出し防止剤に限った話ではないかもしれないんですけど、
0:05:25	その表カーマ1000年やるんで、一応その1000年もつってというような説明が、
0:05:37	必要になってくんのかなと思いつつ、なかなか吸い出し防止剤とか、何でしょう、人工的ななんか神戸市のあれでしょ。

0:05:49	何か物を 1000 年もつとかっていう、こう説明するのってちょっと難しいんじゃないかなあとも思ったりしてるんですけども。
0:05:58	そこら辺で何かどうしようかなとかかっていう、
0:06:03	何でしょう、方針みたいのってありますか。
0:06:08	農業収穫の話です確かにご指摘いただいた通りで、我々も 1000 年もつものっていうのはやっぱり天然の材料ですとかそういったものであれば、変化はしないということはいえるんですけど。
0:06:20	お母さんの人工のものになると、メーカーの保証というものが、
0:06:25	限られたものでありまして、誰もわからないというところが正直なところでございますただ、ただ吸い出し防止剤の方のものはこれ既存もちろん施工の中では、
0:06:37	その層が混ざらないようにという施工は考えてございますし当然機能としてはあまり我々も考えませんという状態設定を考えるとなかなか難しいのかなと思っていて、説明を
0:06:50	少しそれが躊躇するところなんですけど、当然、施工の中でつけるものは説明すべきというご意見をいただいたのかなと思っております多田線の状態設定を説明するのはあくまでも、その
0:07:03	施工の中の締固めですとか、或いは天然のものを用いて何かだと思っておりますので、必ずしもその吸い出し防止で 1000 年もちますというような説明できないのかなという。
0:07:15	考えております。はい。規制庁のスゴウです。ちょっとそうですね。
0:07:25	トーンなかなかやはりコアシさんおっしゃる通り、難しいんじゃないかなと思ってて。
0:07:32	まず説明の仕方とか評価の仕方とかにもよるところがあるのかなあと思っててですね、例えばなんですけど、
0:07:43	なかなかこの評価は難しいと思うんですけど、もう機能を、何て言うんですか。
0:07:56	期待してないところは丸裸にできてしまってるかとですね。
0:08:00	もしくは今回で言えば、線量がピーク立つのが廃措置回収も 100 年なんで、ぐらいになると思うんで、
0:08:11	そこまではきちり劣化も評価してやります。その後は
0:08:21	P E E K 過ぎてるんでっていうやり方とかもなんかいろいろオプションあるのかなと思っててですね、ちょっと愚直に吸い出し防止剤 1000 年もちますっていうのは、
0:08:32	多分誰もわからないし、ちょっと泥沼にはまっていくと思うので、

0:08:38	そこら辺ちょっとこうなんです。なんていうんでしょう、皆が高うこうならこう、まあいいよねみたいな、何かそのちょっと下、
0:08:49	何か漠とした言い方で申し訳ないですけども、
0:08:52	何かそういう着地点みたいのを考えながら、検討いただきたいなと思ってます。城田君も詳しいですよ。
0:09:02	ありがとうございます。ご承認いただきまして、その通りだと思いますので、もしこの説明の仕方を考えれば我々事業者ですので、今いただきましてご意見も踏まえて、今後納得いただけるような説明を準備したいと思っています。ありがとうございます。
0:09:19	はい、どうぞどんどん行ってございます。今の件なんですけれども、笹川さん人工物については生命を持たせるっていうその劣化評価というのは、おそらく難しいと思ってます。百人でも多分難しいのかなと思っておりまして、例えばなんです、
0:09:36	産業廃棄物の処分場においても、遮水シートを使ってますが、これも2、袋が乗っかってますので、暴露状態でねえってということで、紫外線劣化とかそういったものが起きないので、
0:09:48	大きな劣化は起きないというふうにおそらく考えられるのかなと思います。今日我々も、椎橋防災の上には方向が乗っかってますので、白石阿比留とか、SPARKLE状態ではありませんので、そういった強制的なこと、
0:10:02	統計ならお話できるかなというふうに思っております。以上でございます。
0:10:09	成長のスゴウです素行も定性的でも多分、全部が定量的にっていうわけではないと思ってて、その説明の納得具合とかによるのかなと思って、
0:10:24	うまくロジック組み立ててくれればいいのかと思ってますんで、あとは先ほど申し上げた比100年、
0:10:35	一応ピーク立つんでっていう話は一方で我々もガイドで1000年評価性っていうのがありますんであるんですけども、
0:10:43	ガイドを全部、何でしょう、ヒットしなきゃいけないっていうものの類ではなくて、そこも数なんでしょう。
0:10:53	しかししっかりロジックが繋がってれば、
0:10:57	問題ないと思ってますんで、そこら辺も説明をしっかりとってくれればいいと思ってますんで、ちょっと整理をお願いいたします。
0:11:11	東栄住宅の小橋です。おっしゃる通り、ガイドには専任の状態設定とかされておりますので、我々どうしてもその説明というのが頭にございます。ただ、やはりこのチームに対して、この線の状態設定っていうのは

	やはり今でも厳しいと思っております、ある程度被ばく線量のピークなどを見ながら
0:11:31	どこまで期待するのかというのを踏まえて説明をさせていただければと思います。いただいた方もそうですし少しこちらの方で検討したいと思います。ありがとうございます。
0:11:42	社長のスゴウではい。よろしく申し上げますそれで、他ありますか。
0:11:49	今日の審査会合ラップという意味では、
0:11:52	よろしいですかね。どんどんノグチでございます。瀬野からいただきました、EPAと比較するとかなりコアと異なる材料が構成されているというふうにご発言があったと思いますけれども、
0:12:04	これ、よろしければどういったところにご懸念があるかっていうのを教えていただくことは可能でしょうか。
0:12:12	はい。江藤説明ありがとうございます。
0:12:17	私は持ってないんですけれども大きく三つあると思っております。一つは、EPAの会で基本的にそこは表面で表面流で流すんだという思想。
0:12:30	で、そのためにその土の材料を使って、かつ侵食を防ぐために植生をすとかそういった構成だと思いますが、
0:12:40	この減税ん3の設計で特徴的なところで、水を基本的に1回中に全部入れて、後で排水をするということで、これは、
0:12:51	侵食対策ということはあるんでしょうか。考え方が大きく違うところだと思います。で、もう一つは、排水槽ですね、排水槽役割っていうのを言っていた人、三つほど書いてありますけれども、
0:13:07	その排水槽の上になるんですか。低透水性の層の上ですよ。ここのところに、水がたくさん玉。
0:13:18	と、上の線が重たくなって、低透水性層の上を滑るままで崩壊するこういった事象があるので、バスを防ぐ。
0:13:31	というのが一つ大きな目的で、排水をちゃんとすべきだとして書いてあると思います。
0:13:37	現在、3の設計、
0:13:40	掘削抵抗性層の創薬をするのかとも思いきはもうここ上の粒子が入って、あまり、
0:13:51	ちょっと極端に透水性高くないですよとこう言われたりしていますので、そこはしっかり考え方されるべきではないかなと思います。もう1点は、固形透水性のそうなんですけれども、

0:14:06	B系のカードの中では、シートのそうですね、その水をほとんど長内層とそれから粘土の層を、福間で使っているのは基本的に書かれていて、
0:14:19	それぞれ単独の層というのは、脆弱性があるんだということを書いています。特に江藤層の方でいうと、
0:14:29	乾燥と必需のサイクルが進むと、亀裂が発生をしてこれもそれなりの厚さのある層を貫通するような亀裂が、
0:14:41	発生をして、これが
0:14:45	ちょっと水が入ってきても自己修復されないようなことがあるんだと、そうすると高振動数量がずっと多くなってますよみたいなことがこう書かれています。
0:14:55	今、県連の設計の中では、粘土層1層だけでやっていますので、そういった問題をどう取り扱うのかということ、
0:15:05	具体的には今の3点がそれを懸念していきたいと思ってるところでございます。
0:15:14	遠藤ノグチでございますご回答ありがとうございます。1点目の当社はですね若干を使ってございますけれどもこちらはですね、耐候性協会、風化しないようにということまでつけたところがございまして、確かにEPAとの違いというのがあるというところでありまして、
0:15:32	それが今後、指摘されている、浸透流解析、その矛盾点というところを見るっていうところもあるとは思いますが必要に応じてですね、
0:15:43	ちょっと検討させていただきたいと思っております。それから、林先生にですねこの通りCを詰めるという形に変えてるんですけども、こちらについても、先ほど滑りが生じるという可能性があるということが、EPAに書かれてるというご指摘ありましたので、
0:15:58	その点について今の持ち帰り検討させていただきたいと思っております。それから最後のシートそうですねこれ
0:16:05	これ先ほどもお話とちょっと共通するかと思うんですけども、例えば遮水シートのようなものの中に入れるとまた専任が持つのかって話にも発展しかねないということがありまして、
0:16:17	我々としても、設置しないというふうにしてございます。それからもう一つは、EPRにはいくつか覆土の向上ってのが書かれておりまして、例えば、
0:16:29	廃棄物の方ですね下の方の透水係数が低い場合、業務よりも低い場合は上に遮水シートを敷くと、そういうことが書かれていましたので、我々も、

0:16:39	猪瀬都築につきましては、さすがになってますので水が抜けやすいということがありますので水がたまることがないということがあったので、強い塗装を除いているとそういう考え方にさせていただきます。以上でございます。
0:16:58	ございます。土佐さんは全くお子さん来はるんですが、
0:17:03	大分前ですけども、それぞれのフォルスマルク組ですか。そ発電所サイト内に取りをしたような特定レベルの廃棄物処分場あるんですが、そこはその方に
0:17:22	総評価で削られてできた年度、これをかけているんですけども、そこらを、これ聞いた話ですけども、一番懸念しているのは、その間質サイクルによってその粘土層が、
0:17:36	乾燥しすぎるとそのひび割れをして、更新統することになる。なので、一番上の層なので、湿度管理というのを大事にしてるということも言われてると聞いたことがございますので、
0:17:51	EPR回答の中でも乾湿サイクルにおけるクラッキングっていうのが書いてありますので、そういったことはどう
0:18:01	考えられるのか、またここで回避されるのかということ、ご説明いただきたいというふうに思います。以上です。
0:18:10	ノグチでございます。補足いただきありがとうございます。持ち帰りで検討させていただきたいと思ってございます。以上でございます。ありがとうございます。スゴウです。
0:18:22	ラップアップという観点でよろしいですか。
0:18:27	はい。よろしければ、時価の精査介護で、遠い。
0:18:36	やはり措置開始後の線量評価結果まで一応、説明というか取り扱うということで、8月の当カーで提出いただいている資料で、
0:18:51	事前にちょっとコメントというか、しておきたいのがあるんで、お伝えしたいと思うんですけどもよろしいですか。よろしく願いいたします。はい。
0:19:03	規制庁の盛田です。ではですね次回の審査会合で、取り扱う補足資料、補足説明資料の3と4のところについて、
0:19:20	前回のラップアップと同じような形で、ざっとまずこちらからコメントだけをつらつらとな説明させていただこうかと思えます。
0:19:31	ご回答だったり、資料の修正だったりっていうところについては次回以降のヒアリングで確認させていただければというふうに思いますのでよろしく願いします。

0:19:40	ではですね一つずつ説明をしていきます。まず補足説明資料のA3の方、お願いいたします。
0:19:50	補足説明資料こちらはさんの方ですね、廃棄物の土の状態設定というところで、影響事象の分析、抽出と分析ということが行われておりますけれども、
0:20:05	今日はこちらのフィックリストで分析をまずされてっていうところをされているかと思います。こちらの中でですね補足3-7ページ、
0:20:17	こちらでですね第2表プリーストというところで表の中に
0:20:24	文献から引っ張ってきた別府リストの中から関係するものを整理してってということがされておりますけれども、えっとですねこちらの中でですね、そのフェーズリストの落とし、このフェーズリストを作成する段階で落としているものっていうのが元の
0:20:43	別府布施栗栖との文献の結果を落としてるものがあるかと思います。関係ないというところですね、何を落としてるのかどういう理由で落としたのかっていうところと、
0:20:57	あとはこのリストには載っているものの、後段の分析で、実際に分析加味した結果、落とした理由を落としたものっていうものもあるかと思います。
0:21:08	例えばですね第、第2表のこのヘクリストの中では、崩壊熱とかっていうものは入っていないような形になってるかと思うんですけども、
0:21:19	これは保険率ってところが影響としてはほとんどないんじゃないかとは思うん一方で、現象としては、その存在してるんじゃないかっていうところもあたりとか、
0:21:29	あとは熱膨張であったりとか膨張熱であったりとか、そういうリストとしては上がってきては影響ないもののリストとしては、上がってくるのではないかなって思うものも幾つか見受けられます。こういうものについて、
0:21:43	まず、フィックリストを作成する段階で落としたものは何でどういうようとしてるかっていうところと、
0:21:50	そこについても、ちょっと言及していただきたいなというふうに思います。引き止めがこちらとなっております。
0:21:58	で、2点目と3点目は、ちょっと細かい点になりましてこちらの、同じ表の中でですね、底散水性覆土と、
0:22:08	最終覆土のところで、こちらは地下水流動ってというのがB IV04という形で含まれているんですけども、

0:22:16	この廃棄物層自体には含まれていないってところが、ちょっと低透水制度層が地下水の影響があるってしているのに、廃棄物層自体はないよってなってるところに同じ高さにあるものはずなのに、
0:22:32	ないっていうバランスがちょっとどうなのかなっていうので、ちょっと指摘することになりますこちらどういう理由で廃棄物はないっていうふうにしているのかということについてお聞きするものです。で、
0:22:43	次のページのところの施行、一番最後に施行というところがあるんですけども、
0:22:50	こちらですね廃棄物層と、提訴水系低透水性覆土の施工不良っていうところはわかるんですけども、D層と帯水層に過去地盤の施工不良っていうのは、
0:23:02	これはちょっとおかしいのではないかなっていう、そちらだけです天然の場所なので施工も何もないような場所なのではないかなと思うので、ちょっとこちらご確認お願いします。
0:23:14	続きましてですね3の9ページのところ以降ですね、こちらは熱の分析がされていますけれども、
0:23:26	充填り中間覆土で低透水性覆土等は発熱しないためという理由で、値IIの影響というところはすべて落としてる形になるんですけども、例えばですね、水和熱であったりとか、
0:23:39	場面九州熱であったりとか元のリストの中ではそういうものもあるんじゃないかというふうになっているかと思うんですけども、これが先ほどのコメントでもありましたけどもなぜ、フィックリストから落ちているのかっていうところと、
0:23:53	こういうねIIについてどういう分析がされているのかということについて少し、お聞かせいただければというふうに思います。
0:24:02	等ですね10検査等中間覆土っていうところなんですけれども、このもの自体っていうところは、安全機能収着性とかっていう安全機能については期待しないっていうふうに、以前整理はされたかと思うんですけども、
0:24:17	安全性を期待しないっていうところについてっていうところとあとは影響事象分析っていうところとの関係性、
0:24:24	についても、少し影響するのは
0:24:27	整理の然たのお話になりますけれども、それによって局地事象分析のところについても、変更が加えられるのかっていうところについても確認させていただければというふうに思います。

0:24:41	続きましてですね3、3-9以降のところですねこちら表、第3表から第6表のところで、熱だったりとか、
0:24:53	水だったりとかってところの整理がされている影響の分析ってところとかがされているかと思えますけれども、
0:25:00	ですねこちらは拡抜きにしてるところは影響しないっていうふうな整理をされていて、
0:25:07	緑にしてる部分は、影響する、提供する可能性があるっていうふうな形で、セリアされているかと思うんですけれども、
0:25:19	例えばですね影響、これらのちょっと緑にしてるものと白にしてるところが、位置付けがちょっとわかりにくいなところがありまして、
0:25:29	例えば今日この現象としては存在するけれども影響する先、先外崎には全く関係ない事象であったりとか、影響先には、
0:25:40	実際関係はするんであれするけれども、結局影響として非常に小さくて無視できるほどなので、省いた現象であったりとか、あとは影響があるため、
0:25:51	後段の線量評価で考慮するっていうようなところ、こちら見分け方としてはこのようなパタ関係のないもので無視できるものを提供するので、評価するものっていうそういう三つになるのかなというふうには思うんですけれども。
0:26:05	ちょっとおそらく全く関係ないものっていうところと、無視できるものっていうのが、一緒くたになってしまってるっていうところもあってちょっとわかりにくくなってるのかなというふうには思います。その辺詰めてについて少し、
0:26:17	明確にしていればというふうには思います。
0:26:21	フェイスリストの方はですね補足説明資料3の方につきましてはコメントは以上となりまして、続きまして補足説明資料4の方、
0:26:34	に移らせていただきます。
0:26:37	まずですね、補足説明資料4のところなんですけれども、こちら先ほどの3のところと関係があるんですけれども、最終的にですね、先ほどの補足趣旨補足3のところ、
0:26:51	この事象が影響ありっていうふうな最終的に残ったものが何なのかっていうのが、少しちょっと最終的な整理のところ、わかりにくかった部分があります。

0:27:03	で、表が最後あっただけだったので、最終的に、が2が残って、後段の、こちらの補足4の方で、状態変化についても、考慮するのかっていう、
0:27:14	の3から4への繋がりってところで、
0:27:17	例えば補足3で抽出したすべての現象について読んで、状態変化の評価をやっているのかなと思ったんですけども、必ずしもそういうわけではなさそうなので、
0:27:27	ちょっとそういうその、参加のような繋がりのところについても整理して説明していただければというふうに思います。
0:27:35	続きまして補足4-1ってところなんですけれども、下
0:27:43	補足4-1の下のところの膨張現象(1)の膨張現象というところなんですけれども、こちらも本的なところなんですけれども、金属の対地体積膨張が生じると想定するっていうふうに行かれていますけれども、
0:28:00	その次の段落のところですね膨張が生じてしてるのに、歳出変形が軽微であるため影響は考慮しないっていうふうなところになっていてまあ、
0:28:12	何かそう想定するのかわからないのかっていうところが少しわかりにくかった部分に、
0:28:17	もう傍聴者講じるけれども
0:28:23	考慮する必要はないってことなのかとは思いますがちょっとそれで理解が正しいかっていうところの確認だけとなります。
0:28:31	で、続けて補足4-6ページになります。こちらですね5ポツ2のところ解析に用いる諸条件というところがあります。
0:28:46	こちらの中でですね、松木の次の図のところ図1の方もそうなんですけれども、解析条件のところ、すべてつば高になったというふうな形で想定しているんですけれども、
0:29:00	こちらの現場実際このGTGの図のところでは、例えばコンクリートブロックを東側トレンチの右半分埋設するっていうふうに見えますし、
0:29:13	実際配置については綺麗に配置スルーわけではなく
0:29:19	以前ご説明いただく時に例えば何か市松模様みたいな形で交互に置くようなことも考えられるというふうにおっしゃっていることとおっしゃっていたかと思うんですけども、実際そういう配置があるにもかかわらず、すべて鉄箱にするっていう、特徴的というか、

0:29:36	かなり現実的とは異なる現実とは異なるような設定になってるような気はしてしまうんですけども、まずちょっとこのような設定で評価されているのかっていうところについてもご説明いただければと思います。
0:29:49	実際にその鉄ば古藤コンクリートっていうところが、1ヶ所に並べるのではなくて例えば候補2羽を配置した場合だったりとかっていうのは、
0:30:00	部分的に陥没するってというようなこともあり得るかと思うんですけども、そういう冬状態についても、
0:30:08	例えばこういうふうにして津波古として仮定したところに包含できるかであったりとかそういうところについてもう少しご説明いただければというふうに思います。
0:30:18	続きまして、補足4-12ページ、こちらのところについてはこちらはまず1点単純な確認になりますけれども、こちら諏訪のフィッティング解析の結果が示されているんですけども、
0:30:33	こちらはポイントにこの第7図の図を見るとですね、粒径解析の利益がすごい大きくは見えるんですけども、これUK砂の粒径自体は試験条件と合わせたような、
0:30:47	粒径として解析をされているのでしょうかというところになります。
0:30:51	で、続けて補足4-15ページ。
0:30:58	第7表のところですね、こちらは解析用の物性値が設定値として挙げられているんですけども、例えばですね、減衰係数であったりとか、粒子水であったりとか、それから摩擦係数等っていうところは、
0:31:14	(4)のフィッティングで調整した、この中でフィッティングで調整されてるかと思うんですけども、そちらの
0:31:23	そちらでフィッティングしたときのパラメータを使われてるということなんでしょうか。(3)のところではその入力パラメーターの設定値っていうところで、この減衰係数であったりとかっていう、バイパス係数であったりとかそういう情報が載せられていて、
0:31:39	代表のところですね代表表の結果が、第7表のところにも使われているような形に見受けられるんですけども、実際、砂の方も同じような形で設定されているのかっていうところの確認となります。
0:31:54	続きましてですね4-16ページですねこちら掘削抵抗性層の解析における幾何中のところの説明の中でですね掘削抵抗性層ってというのが、
0:32:10	堆積終了は方法と同様とするってというような記載がされているんですけども、
0:32:16	掘削抵抗性層の隙間に実際その砂を充填する設計にね、8月以降に選考されているかと思うんですけどもその影響というところが

0:32:28	これが足りているかというか実際影響がするのかどうかというところについてどう考えてるかについて、お聞かせいただければというふうに思います。
0:32:37	続けてですね。4-24 ページ。
0:32:42	こちらはどういうふうな
0:32:45	計算の仕方をしたのかっていうの確認なんですけれども、
0:32:48	4 の、24 ページの中段の辺り D E M 解析結果が D E M 解析の結果によりっていうところなんですけれども、乾燥密度の低下量、過去 3.5% っていうところが有効モンモリロナイト 監査密度だと。
0:33:03	8% の低下に相当するっていうふうな文章で一部書かれているんですけども、実際これどういう換算計算をしたのかっていうところについても、少しいただければ、説明を追加いただければというふうに思います。
0:33:18	続きまして、
0:33:22	こちらで 4-25 ページのところですね、
0:33:29	こちらは文章の中でですね細分化した場合の粒子密度の結果を第 17 図に示すっていうふうなことが、密度分布の結果を示すっていうようなことが書かれているんですけども実際の図を見るとですね透水係数の結果が載せられていて、
0:33:43	こちらはあの密度の結果なのかどうせ件数の結果なのかどちらを載せているのかというのが少しちょっと混乱するような形となっているので、こちらちょっと確認をお願いいたします。
0:33:54	続きまして次は最後になりますけれども、4-26 ページのところは、
0:34:02	ですね、こちら中段の辺りの文章のところですね、局所的に局長木野光田編カーによって、
0:34:14	一番上のところですね、局所的な密度変化によって透水係数の増加が生じるけれども、便法ベントナイト混合度の破断厚さの大きな変化は必要発生せず、
0:34:26	設計に影響は生じないと考えるっていうふうなことが書かれております。
0:34:30	で、これを読んだだけだと、実際透水係数が増加する場所があるけれども、
0:34:39	藤関谷鷺見は透水性には影響がないっていうふうな記載に見えてしまうので、実際その判断された影響がないっていうふうに判断された、その基準であったりとか、考え方があるかと思うので、

0:34:52	一つ特性が増加したものの、なぜ透水性に影響最終的に影響がないと判断したのかっていうその判断基準の考え方を少し教えていただきたいなというふうに思います。
0:35:04	ちょっと駆け足になってしまって恐縮ですけども事前質問としては以上となります。
0:35:11	何かちょっと不明な点等がありましたらご指摘ください。人間工学の小橋です。ありがとうございます。社内でも事前にレビューをする中で指摘をされて、直す必要があるなと思うところも指摘をいただきまして、それぞれまた
0:35:29	俺の資料の説明が足りないなというところを痛感する次第です申し訳ございません。基本的に今おっしゃるところはすべて最小で少し説明を追記して、今の質問にはすべて答えられるように修正する必要があるのかなと思います。
0:35:53	特に今、現段階でこのすべて拝承ですので、ご意見はございません。どうもありがとうございます。はい。規制庁盛田です。わかりましたでは次回以降に修正いただいたもので説明いただければと思いますので、よろしく願いいたします。
0:36:10	減少額のコアシで承知しました。
0:36:15	清町のスゴウです。江藤。今、盛田から指摘ありましたし、ちょっと資料3で影響あり、
0:36:26	なのかなしなのかっていうところと、その3と4の繋がりとか、
0:36:30	のところでコメントあったと思うんですけど、強い今回の審査会合で取り上げた。
0:36:37	自然事象で、落とす落とさないとかっていう整理と葛藤も一緒に、
0:36:43	ちょっと整理が若干、栗田なんですけど、悪いような気がしてて、そこをうまくまた整理してもらえればと思うので、よろしく願いします。
0:36:58	4月のコアシですありがとうございます。ちょっとその事業所の資料を参考にし過ぎて、当然まとめて、このところあるんですけどそういうのはもう、
0:37:08	横並びの中で少し省いてしまったということで、きちんと記載して説明するようにしたいと思います。ありがとうございます。はい、規制庁の坪井ですよろしく願いします。
0:37:20	それで時価Eの審査会合は1月の終わりぐらいを考えてまして、ちょっとまた逆算していくと、ちょっと年明け早々申し訳ないんですけども、

0:37:37	ちょっと6日ぐらいに、まず第1弾の資料をご提出いただければなと思 っていますが、そこは、
0:37:47	よろしいですか。えっとですね、本庄さんの話です。本当いただいたコ メントと、事実関係の中でも少し整理し直しCのものが入っていて、今 本整理作業をずっと継続しているんですけど、
0:38:05	今日やはり年始すぐっていうのはなかなか難しいのかなと思ってまし て、今大変申し訳ないんですけど1月末に審査会合を設定していただい てるというのは、少し
0:38:18	依頼していただくというのは、
0:38:27	管理官の嶋ですけれども年度前に許可を上げる気はないという理解をし ていいですかそう。それは、我々は年度内に委員会付議まで持ってくよ うな日程を作ろうと。
0:38:48	大丈夫。
0:38:51	年度内に審査会合で、一通り審査を争うというスケジュールで考えてる んですけど。
0:39:03	日本原子力発電の桐山でございます。本当にそういう工程を我々もお出 しをして今やっておるところなんですけれども、一方でですね先般もご 説明の中で誤記とかそういうのが、チラッチラッとこう見えてしまいま すと、
0:39:21	我々はやはりきっちりとしたご説明をさせていただければと思っていま して、そういったところをしっかりとやるということで、すいません我々 の方からお願いしてるところはあるんですけど大変恐縮なんですけど、
0:39:33	次期集団2週間少しお時間をいただいてし、確実データは確実なもの を出したいと思っておりますので、その辺り、ちょっと我々の方からお願い して大変恐縮なんですけど、
0:39:47	1週間2週間ぐらいの少しリードタイムをいただければと思っております。
0:39:55	会計、いや、それはもうね、年度内に審査会合で審査をすべて一通りや るっていうのは諦めたというふうにとりますよ。
0:40:11	はい。年間年度内、1月30、1月の終わりまでに、
0:40:17	1回やっておかないとうちは終わらないと思っております。はい。
0:40:23	スケジュールを、ありきではなくて、中身をもう少し今回のようなコメ ントをいただいているところを少し改善どんどんしていきたいと思ってい ますので、申し訳ございません。

0:40:36	年度内っていうところを我々の方は目標としてご説明させていただいたんですけれども、1週間2週間お時間をいただきたいと思っております。
0:40:50	わかりましたそれでうちも計画練り直しますので、はい。
0:40:56	申し訳ございません。
0:40:59	規制庁のスゴウです。そしたら、逆にあれですかね資料として、その第1弾、どのあたりだったら、提出できそうっていう見込みってありますか。
0:41:12	農業集落の小橋です。今申しあげましたように1週間少し時間をもらって、しっかりとしたものを作りたいと思いますので、1発中旬ぐらいを目標にしたいと思うんですけど少し我々の方で、
0:41:27	明示を検討し直して、明確にこの位置まで出せるというのをね、決められたらそれをすぐ連絡させていただきたいと思いますが、それでもよろしかったでしょうか。規制庁のすぐわかりました。具体脳これぐらいっていうのが見えてきた段階で、連絡いただければと思いますので、よろしくをお願いします。
0:41:47	すいません具体の予定っていうのは年内に出せますか。
0:41:52	養命酒松林です。年内に必ず連絡いたします。はい。
0:41:58	規制庁のスゴウですはい、それでは他にもしなければヒアリング終わりにしたいと思いますが、
0:42:10	次言います。
0:42:12	言いますか、開催し、ちょっと待ってくださいね。
0:42:36	信号機、
0:42:45	規制庁の菅ですすみませんでした。もし椅子何もなければ、以上で、ヒアリング終わりにしたいと思いますがよろしいでしょうか。
0:42:55	園芸小学校のコアシですこちらからも特に確認することはありません。ありがとうございました。規制庁の蘇武はい、では以上でヒアリングを終わりにしたいと思いますありがとうございます。